九州大學 法学部同窓会報

（題字・具島　兼三郎）

発行日　2023年９月10日　第48号
発　行　九州大学法学部同窓会
事務局　〒819-0395　福岡市西区元岡744
九州大学法学部内
ＴＥＬ 092（802）5405
ＦＡＸ 092（802）5407
E-mail dosokai@law.kyushu-u.ac.jp

2024年に法文学部創設100周年

創造性豊かな人材の養成

徳本穰法学部長に聞く

2023年４月、法学部長（法学府長・法学研究院長）に就任した徳本穰氏に、現状や課題などを聞きました。

―法学部や法学府の現状はいかがですか。

徳本　伊都キャンパスへの移転後、法学部が管理運営する研究会室、会議室、演習室はずいぶんと増え、学部生専用の情報サロンも設置される等、学生や教職員にとって使いやすい学修環境が整備されました。しかし、折からのコロナ禍の影響により、この間、学生の構内への立ち入りが制限されたことや、オンラインによる授業が導入される等、様々な制約がみられました。

コロナ禍の収束を迎えて、ようやく、今年度からは、こうした制約がなくなりました。今後、この素晴らしい伊都キャンパスの学習環境を思う存分に活用してもらい、より活発な研究・教育活動が展開されますことを切に願っています。

―法学部と法学府のこれからの目標や課題についてお聞きします。

徳本　法学部の目標は、「法学･政治学教育を通じて、地域社会、日本社会、国際社会でリーダーシップを発揮しうる創造性豊かな人材の養成」です。法学部は、1924年９月に九州帝国大学法文学部として創設され、2024年には、いよいよ法文学部創設100周年を迎えます。また、法学府国際コースは、2024年に、創設30周年を迎えます。

コロナ禍の収束が訪れ、今後、いかに研究や教育の質をさらに高め、内容をより充実させてゆくかということが課題となりますが、教職員と学生とが対話を続けながら、お互いに知恵を出し合い、未来に向けて、さらなる発展を目指してゆきたいと思います。

―福岡生まれで、九州大学で学ばれ、その後教員として各地の大学で教えられ、2018年に福岡に戻られましたが、久しぶりの福岡の印象は。

徳本　福岡に生まれ、九州大学法学部・大学院法学研究科（現法学府）で学びました。その後、福岡に戻ります直前は、東京にあります筑波大学大学院に勤めていました。久しぶりに福岡に住むことになりましたが、学生時代の頃に比べ、街は大きくなり、人も増え、以前にも増して活気に満ちていると感じます。人はあたたかく、食も美味しく、少し行くと海や山等の自然にも恵まれている、福岡の街は、あらためて、住みやすい街であると実感しています。

―ご自身の研究は、いかがでしょうか。

徳本　専攻分野は、商法、会社法、企業法等で、これまでに、企業買収やコーポレート・ガバナンス等の法的課題を中心に研究してきました。また、企業の誘致・進出や経済特区をめぐる法的課題の研究やモンゴル国等への法制度整備支援等にも従事しています。

1967年８月生まれ。青雲高校から九大法学部へ。商法（森淳二朗先生）のゼミと民法（父である徳本鎮）のゼミに参加。趣味は、読書、映画の鑑賞、旅行など。映画の鑑賞は、イェール大学ロースクールへの留学時代に、現在も親交の続く米国の映画館の館主の方と友達になったことがきっかけです。

本　年　度　総　会

◆日　時　2023（令和５）年10月20日（金）
18：00　受付開始
18：30　総会・懇親会

◆場　所　西鉄グランドホテル
福岡市中央区大名２丁目6-60
２階　「鳳凰の間」
電話　092（771）7171

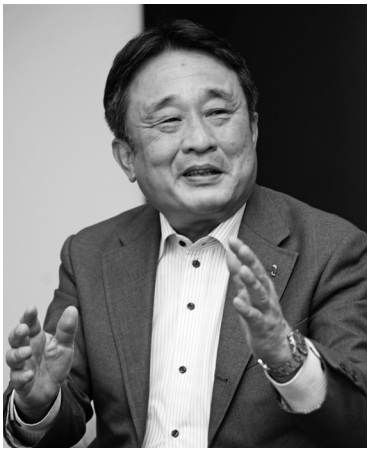
※詳しいことは７面に記載しています

―法学部で学ぶということ―

社会で必要なリーガルマインドを身に付ける

法学部ＯＢは、いろんな分野で活躍しています。今回は、九州の金融経済界をリードするふくおかフィナンシャルグループ代表取締役社長（福岡銀行頭取）の五島久さん（昭和60年卒・大口高校出身）と西日本鉄道代表取締役社長執行役員の林田浩一さん（昭和63年卒・島原高校出身）が顔合わせ。現役の山口佳乃さん（法学部4年、取材時は3年・諫早高校出身）と川原滉平さん（法学部2年、取材時は1年・西陵高校出身）を交えながら語り合いました。

西日本鉄道代表取締役社長執行役員
林田　浩一さん



九大法学部を選んだ理由

五島　鹿児島県の大口高校出身。「とにかく九大に入りたい」という気持ちでした。もともと法学部か経済学部のどちらかに、と思っていました。「数理的な分析」よりも「法律の解釈」が面白そうだと、そんなイメージで法学部を選びました。

林田　出身は長崎県の島原市ですが、「都会に出たい」と思い九大を目指し、「就職に有利かな」という若い頃のありがちな発想で法学部を選びましたね。

学生時代について

五島　「九大フォーク」というサークルでバンド活動に明け暮れました。六本松にあった教養部の教室をライブハウスに仕立てて…。

林田　九大祭のとき？

五島　そう。当時の学祭は夜中までやっていましたね（笑）。

林田　僕は、高校3年間ずっとやっていた弓道部に入りました。九大弓道部に入学した、というほうが正しい表現っていうくらいしっかりやっていました。当時、弓道場は工学部の一角にあったんですけど、（法学部がある）文系の食堂より、工学部の食堂にしょっちゅう行っていた覚えがあります。勉学だと、単位を取る要領だけはよくて、3年までにほとんど取っていました。授業はほとんど出ていないんですけど、テキストをしっかり読んでいました。一生懸命読んで、ぼんやりと理解した中で、文章力の勝負。そこは十分鍛えられましたね。ゼミは、横山先生の刑事訴訟法でした。

五島　僕もあまり真面目な学生じゃなかったけど、民法の徳本（鎮）先生のゼミに入って、そこでリーガルマインドの大事さを学びました。問題解決の答えは一つじゃない。「なぜそうなのか」ロジカルに考え、説明する力をゼミで鍛えられました。ロジカルに考えることは仕事でも必要で、銀行に入ってから役に立ちました。

福岡の街に育てられて

山口　様々なところで、「旧帝大の中で、どうして九大を選んだのか？」という質問をよく受けるのですが、お二人は九大で学ぶ意義をどのようにお考えですか。

五島　まず、九州にあるという地域性だと思います。仕事をしていても、「九州っていいなー」と思いますね。古くからアジアに開かれた地域で、色んな産業が盛んなこと。開放的で真面目な人柄も。教育レベルの高さに加えて、そうした多面的な豊かさが強みの大学だと思いますよ。

山口　「九州の人は人柄が良い」ってよく聞きますが、中の人間だとあまり感じきれていないですが…。

五島　ビジネスで西鉄さんとか色んな企業の方とお付き合いしても、話すとすぐに理解し合えます。「九州を盛り上げていこう」という部分が共通しているし、それに対してみんな真面目に向き合っていますよね。

林田　同じように感じますね。教育の質の高さは旧帝大ほとんど差がないだろうけど、その中で九大ってなるとやっぱり「福岡」にあることかな。学生時代って学校よりもほとんどその「街」で過ごしている。泥

臭さも勢いも抱え込んで調節していくような、温かさがある街だし、安全でのびのびやれるっていうのが、福岡の魅力なんじゃないかな。今は伊都に行っちゃったけど、六本松と箱崎っていう街の真ん中にあったから、あの街に育ててもらったって思っています。

山口　長崎から福岡に出てきて、「住みよいなあ」と感じていましたが、そういうことなんですね。

川原　コロナの制約が減ってきて、これからの大学生活を考えています。お二人が、大学生の間にやっておいたらよかったなと思われることはありますか。

林田　いや、それは勉強よ。社会人になっても勉強することは本当に多いけど、こんなにするんだったら、しっかり体系的に学べる時間にもっとやっておけばよかったな、と感じます。なぜこういう法体系になっているのかとか、法律の構造になっているのかっていうことを。仕事をやりながらわかっていくことも増える中で、「法律って面白いな」って思うようになってくる。

五島　その通り。仕事で問題にぶつかったときに、立法趣旨がわかると問題解決の方向性が見えてくることが多いですね。

林田　ショートカットできますね。

五島　仕事をしながら学んでいくことでもあるけど、大学時代に「なぜ、このルール（条文）ができたのか？」と考える癖を身につけておけば良かったですね。もう一つ、何でもいいから一生懸命に取り組むことです。林田さんの弓道だったり僕のバンドだったり。「やり尽くした、あとは働くぞ」という覚悟ができる。一生懸命やって、「やり尽くした感」が持てたらいいかな。

林田　もう一つ言うなら、海外の文化に触れるっていうのは若い方が絶対いい。大学在籍が四年になろうと五年になろうと構わないので、まとまった期間海外に行って体験した方がいい。

五島　グローバルな会社じゃなくても、海外の投資家と付き合いがあったり、海外情勢の影響を受けることは多いですね。

山口佳乃さん 林田浩一さん 五島久さん 川原滉平さん

ふくおかフィナンシャルグループ
代表取締役社長（福岡銀行頭取）
五島　久さん

悪あがきできるような人材に

山口　就活の九大生にアドバイスはありますか。

林田　ノウハウとか色々教えられるでしょうけど、まずは、「何をやりたいのか」ということをしっかりと表現していくのが一番大事。作られた言葉って聞いていてわかる。「何がやりたいか」っていうのは、どこの会社に行っても同じ売り込みでいいと思う。自分の思いをそのまま語っていくこと。先輩はどうですか？

五島　人事部で採用面接を長いことやっていたけど、判断基準は、まず「この人と一緒に働きたいなー」って思えるかどうか。背伸びする必要はないので、自分らしさを伝えてほしいですね。その上で勉強したことも併せて。話しているうちに、その人が大事にしていることもわかってきます。

川原　後輩である私たちに期待されていることは？

五島　「社会にとって必要な人」になって欲しい。人は皆、何か強みを持っています。その強みを活かして、誰かの役に立ち、社会の役に立つ、そういう気持ちを持ち続けてほしいな、と思います。

林田　自分が実現したいということを追い求めて、それをぜひ形にするために悪あがきできるような人材になってほしいです。ただ人についていくような人にはなってほしくないなと。

五島　九大法学部の卒業生は、産・学・官・金の幅広い分野で活躍しています。同窓会は、そういう人たちとのネットワークの場です。みんなで一緒にワイワイやりたいですね。

林田　同窓会って敷居が高いイメージが若い人にはあるだろうから、フラットな関係で会が認識される工夫が必要かなと。年代ごとの同窓会を企画されるっていうのもあるかもしれません。（本文作成　山口佳乃）

支部だより

リアル会合で会員の交流深まる

―東京同窓会―

新入会員歓迎会での記念撮影

本年度はコロナ禍が長引く中、三密を避けながらもリアルで会合を持ち、会員同士の交流を深めることができた同窓会活動となりました。

〔2022年11月16日開催　東京同窓会総会〕

コロナ第8波が襲来する中、万全の対策を講じて標記の同窓会を開催しました。

講演者にイコモス名誉会長で3月まで九州大学法学部教授、現在は九州大学法学部特任研究員の河野俊行様を迎えてイコモスの内情を織り込んで頂き、大いに盛り上がりました。故古川貞二郎先輩の竹馬の友の山本悦夫様から出席者全員に書籍を頂くハプニングもあり、五十君教授からは寄附講座の紹介、講師のスピーチ、鬼木誠衆議院議員のスピーチありで懇親会も盛り上がりました。2023年は11月15日（水）に学士会館にて総会を開催する予定です。

〔2023年4月22日開催　新入会員歓迎会〕

本年は3年ぶりに浜松町にて新入会員歓迎会を開催致し、12名の新入会員、18名のOBの方々にご参加いただきました。

櫻井龍子会長から、新入会員に向けたお祝いのメッセージを頂戴するとともに、新人一人ずつ今後の目標などをスピーチしていただきました。今年は特に、首都圏のロースクールへの進学者の方も多く、先輩に弁護士や裁判官の方も来られていたので大変有意義な交流となったと思います。

（文責　法学部東京同窓会事務局次長　田中博子）

九州大学法学部東京同窓会事務局
〒102-0054　東京都千代田区神田錦町3-28
学士会館B1　九州大学連絡事務所内
TEL,FAX：03-5283-8510
E-mail　kyudaihogakubudosokai@gmail.com

初参加の総会を終えて思うこと

―関西支部―

「会員増強」、幾度も聞いたこのワード。今年から各方面で総会・同窓会等に参加してますが、このワードが必ず出てきます。時代の流れで片付けられるテーマなのか？　私が思うことをそのままお伝えしたいと思います。

金融機関の世界に入り、早くも28年が経過。3年前に三菱UFJ銀行からソニー生命に転職しましたが、3年間苦戦の連続。電話に出てもらえない・LINE既読無視やブロック・電話中に切られる・食事に誘うと「保険の勧誘は受けない」など、様々な反応がありました。その苦戦のお陰で、「人間関係の難しさ」に気づかされました。

人間関係は、「お金」の認識違いも影響していると感じています。世間では、NISAやiDeCoといった投資ネタが盛り上がり、お金を増やすことに注目が集まっています。でも「なぜ投資（お金を出す）するのか？」と聞くと、「銀行に置いても仕方ないから」との返答、これは「目的ではない」でしょう。お金がないとモノやサービスが買えない。携帯・ゲーム・塾等、それらはお金がないと買えないし、買わないとその繋がりに入れないかもしれない。

20人が参加した関西支部総会

ではこう考えてみることは出来ないか。会費というお金で、「先輩の仕事や人生経験を聞かせてもらう、さらに相談もできる！」という「情報」を買う。そこから自分の人生のヒントを得て欲しい。会社の人間関係も大事、でもいつか会社を去る、組織を出たら人間関係は薄くなりやすい。「九大法学部」の人間関係は一生ものです。若い卒業生が、NISAやiDeCoと同じぐらい、「九大法学部」に価値を見出してくれれば、より一層会が盛り上がると信じています。

～今後の知恵の参考例（勝手な妄想もあります）～

○インターネットバンキングで振込

○（参加者）バズセッション：不安や期待を意見交換。

社会貢献とは？生きるとは？人間関係の構築とは？

まだ見ぬセカンドライフとは？それまでの生き方（先輩の後悔）とは？

○チーム制：若者と一体、会も一緒に参加する。

○役もチーム制（仲いい人同士でまずやってみる等）

（平成７年卒　上野伸一郎）

関西支部事務局
〒530－0047 大阪市北区西天満４丁目５番７号
三旺ビル203号　稲吉法律事務所内
TEL：06-6585-0177　FAX：06-6585-0178

第11回九州大学熊本同窓会を開催

―熊本支部―

熊本同窓会では市民公開講座を開催

熊本支部では、令和５年２月７日に九州大学法学部同窓会熊本支部第29回が開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり、長らく総会・懇親会ともに延期されていた法学部同窓会の開催が実現する運びとなり、当日の同窓会は、熊本大学理事（非常勤）であり元熊本県教育長を歴任されました宮尾千加子様よりご講演（演題「くまモンの人間力」）頂き、また、懇親会も多くの同窓生のご出席のもと、同窓生と親睦・懇親を深めることが出来ました。

また、令和５年７月22日には、九州大学熊本同窓会第11回が開催され、当日は多くの御出席者及びご来賓の方々のご出席のもと、総会・懇親会が盛大に行われました。当日、昨年までは新型コロナによる社会情勢を踏まえて控えておりました市民公開講座（PMS総院長及びペシャワール会会長村上優様からご講演頂きました）を開催することも出来まして、同窓生と親睦・懇親を深めて頂くとともに、大学・地域をはじめ各界各分野の様々な事柄につき、意見・情報交換ができる大変貴重な機会となりました。

九州大学熊本同窓会及び九州大学法学部熊本支部が、今後とも、同窓生のみならず各界各分野の方々との大変貴重な交流の場となりますよう更なる発展を目指して邁進致しますので、熊本在住または熊本に転勤の同窓生の方がいらっしゃいましたら、是非、ご紹介ご連絡頂けますと幸甚です。

（平成20年卒　室屋隼人）

熊本支部事務局
〒860－0016　熊本市中央区山崎町66番７
熊本中央ビル４階　熊本慶徳法律事務所内
TEL：096-342-5640　FAX：096-342-5641
E-mail：mulawyer8810jp@gmail.com

広島地区九大法・経同窓会事務局
〒730－8701　広島市中区小町4番33号
中国電力㈱内
E-mail：hiroshima.kyudai.h.k.dosokai@gmail.com

法文学部創設100周年記念モニュメント設置へ 3つの「つなぐ」～法学部同窓会主導で

九州大学法学部の前身である法文学部が1924年に創設されてから、2024年で100年を迎える。これを機会に法学部同窓会がイニシアチブをとって、箱崎キャンパスのあの「噴水」をイメージしたアート作品を公募し、優勝作品を伊都キャンパス・イーストゾーンに設置することとなった。キーワードは「つなぐ」。まず同窓生をつなぐ。100周年を意識し積極的に参加してもらうため、同窓生には応募作品から気に入ったものにオンライン投票していただく。優勝作品は10月20日の法学部同窓会総会で発表の予定であり、寄付もお願いする。次に文系４学部をつなぐ。近時大学側では人社系４学部の協働が進んでいるため、さまざまな違いを超え同窓会の連携も模索中で、HP運営には経済学部同窓会の協力を得ている。最後に過去と未来をつなぐ。100周年記念モニュメントが、我々同窓生と現役生、そして未来の学生の青春の思い出をつなぐ連結点となるよう、同窓諸兄姉のご協力を衷心よりお願いする。

＊９月１日現在、QRコードでモニュメント・プラン募集要項を確認できるが、９月20日以降準備が整い次第同ページで投票も受け付けるので、是非ご参加いただきたい。　（平成２年卒　五十君麻里子）

［新任教員の自己紹介］

法学と異分野をつなぐ

基礎法学講座
西村　友海

2022年10月に着任しました西村友海と申します。生まれてより大学院を出るまでの期間を東京で過ごし、大阪大学の社会技術共創研究センターにて科学技術の倫理的・法的・社会的課題（ELSI）についての研究に従事した後、本学に着任しました。広い意味での専門は法哲学で、その中でも特に法解釈の問題を研究しています。元々は「良い法律答案とは？」という、学生にありがちな疑問から出発したものでしたが、次第に法学の客観性に関する学術的な関心へと発展し、研究の道に足を踏み入れました。今では、そこから派生する形で、法学と他の学術分野（特に情報科学）の相違や関係性についても研究しています。九大では、法学部を含む人社系四部局によって運営される「人社系協働研究・教育コモンズ」にて、研究・教育両面での異分野協働に向けた取組に携わっております。

現在の九州大学法学部には異分野との協働に対して積極的な教員が多く、着任してこのかた様々な良い刺激を頂いております。こうした九大法学部の強みを学生にも伝え、他分野にも目を向けることのできる視野の広い学生を育てることに寄与できればと思っております。

学生に大いに役立つ研究教育を

国際関係法学講座
川﨑　邦宏

はじめまして。本年度4月に法学研究院に着任しました、川﨑邦宏と申します。千葉県の生まれで、東京の大学の法学部・法科大学院で勉強し、弁護士として、また会計士として国際取引を含む企業法務・税務・会計に関わってきました。その後、研究者の道を志して東京大学大学院法学政治学研究科に入学し、昨年、博士号を取得しました。東京の人間と思われるかもしれませんが、祖父母、両親ともに福岡県出身です。そのため、幼少期から両親の実家への帰省の際に福岡県を何度も訪れています。福岡県に住んでいる親族も多く、福岡県に位置する九州大学で奉職できることをとても嬉しく感じております。

専門は商法で、会社法と金融商品取引法を主たる研究対象としています。その際、経済学と会計学の研究成果、研究手法を取り入れながら研究しています。経済学と会計学は、商法研究の際に強力なツールとなりますが、同時に、弁護士・会計士の実務経験に照らしても、会社・社会の発展のみならず、一個人としての生活にも大いに役立つと考えております。研究活動が教育活動に資することを念頭に置きつつ、研究教育の職務を全うしたいと思っております。まだまだ若輩の身ですが、どうぞ宜しくお願い致します。

知的成長の喜びを共にする授業を

政治学講座
柳　　愛林

2023年4月に本学に着任した、柳愛林と申します。韓国の釜山出身です。高麗大学校政治外交学科を卒業した後、日本に留学、東京大学大学院を卒業しました。日本における西洋政治思想の受容を中心に政治思想史を研究しています。法学部では日本政治思想史の授業を担当しています。

今の大学3・4年生は知的成長やその喜びを周りと共にする機会を奪われているのではないか？それが、着任してから4カ月間の授業を行った後の感想です。コロナ禍でほとんどの大学生活を過ごした学生たちは、モニター画面越しでしか人に接することができなかったでしょう。そのため、授業中の自由な議論や休憩時間のおしゃべりを通じて「自分が知っていること」「知らないこと」や知的想像力を共有しづらかったと思います。大学という空間は学習を通じた自己陶冶の場であると同時に、知的交流の場でならなければいけません。学生同士ではもちろん、先生と学生の間でも一方的な知識のおしつけではなく「交流」がなされるべきだと思います。怠らず研究し、それを学生と共有し、共に成長していきます。

同窓会事務局からのお知らせ

法学部同窓会総会は、10月20日（金）午後6時30分（受付開始は同6時）から、福岡市中央区の西鉄グランドホテル2階「鳳凰の間」で開催します。

会費等詳細は決まり次第、九州大学法学部 WEB サイトに掲載します。総会出席の連絡は、同封のハガキのほか、法学部同窓会ホームページ、メールまたはFAXでも受け付けております。なお、当日参加も可能ですが、できるだけご予約いただけると助かります。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

返信締切日：2023（令和5）年10月12日（木）

Email ： meibo@dousou.info

FAX ： 0120-81-2299

※出席の場合のみ、連絡いただけますと幸いです。メールの場合は、「九州大学法学部」と明記の上、送信をお願いいたします。

こちらのQRコードで、九州大学法学部同窓会のホームページにアクセスできます。ぜひご利用ください。

◎会員データの変更訂正の連絡について◎

会員データの変更訂正の連絡については、同封のハガキ、またはメールやFAXにてお知らせいただけますと幸いです。内容に変更がない場合はご返信不要です。

なお、今後、会報等のメールでのご案内も検討しております。メールとご意向のご登録をお願い致します。（引き続き郵送となる場合もございます。ご了承ください。）

Email： meibo@dousou.info、FAX： 0120-81-2299

※メールの場合は、「九州大学法学部」と明記の上、送信をお願いいたします。

同窓会費納入のお願い～各種 Pay 振込も可能～

ただいま、2023年の会費を受け付けています（1年ごと2,000円です）。運営経費の節約に努めておりますが、皆様からの会費収入が唯一の財源です。ご協力を何卒、よろしくお願いいたします。

なお、コンビニエンスストアと郵便局に加え、各種Pay振込も可能になりました。申し訳ございませんが、手数料は会員の皆様のご負担でお願いいたします。

※各種Pay振込の場合

- 対応のアプリでバーコードを読み取り、ご自宅で簡単にお振込いただけます。
- 利用可能なPayは「払込取扱票」の裏面をご参照ください。
- 支払先名の「小野高速印刷株式会社」は、同窓会が委託した専門の代行業者です。

〈教員一覧〉

教員名		専　攻
赤坂　幸一	教　授	憲法
明石　欽司	教　授	国際法
浅野　雄太	准教授	民事訴訟法・倒産法
荒　　達也	准教授	商法
五十君麻里子	教　授	ローマ法
出水　　薫	教　授	政治学
井上　宜裕	教　授	刑法
入江　秀晃	教　授	紛争管理論、法社会学
上田　竹志	教　授	民事訴訟法
江口　厚仁	教　授	法社会学
遠藤　　歩	教　授	比較法
大賀　　哲	准教授	国際政治学
大脇　成昭	教　授	行政法
岡﨑　晴輝	教　授	政治理論・比較政治学
笠原　武朗	教　授	商法
香山　高広	准教授	民法
川﨑　邦宏	准教授	商法
川島　　翔	准教授	西洋法制史

教員名		専　攻
木村　俊道	教　授	政治学史
熊野　直樹	教　授	政治史
小池　　泰	教　授	民法
小島　　立	教　授	知的財産法、文化政策、科学技術イノベーション政策
七戸　克彦	教　授	民法
嶋田　暁文	教　授	行政学
新屋敷恵美子	准教授	労働法
鈴木　崇弘	准教授	行政法
S・ヴァンアーツル	教　授	国際競争法
高岡　大輔	准教授	民法
高橋　雅人	准教授	憲法学
武内　謙治	教　授	刑事政策、少年法
田中　孝男	教　授	行政法
田中　教雄	教　授	民法
田淵　浩二	教　授	刑事訴訟法
寺本　振透	教　授	知的財産法
德本　　穰	教　授	商法
冨川　雅満	准教授	刑法

教員名		専　攻
豊崎　七絵	教　授	刑事訴訟法
中島　琢磨	准教授	外交史
成原　　慧	准教授	情報法
西　　英昭	教　授	中国法、台湾法、東洋法制史
西村　友海	准教授	法哲学、法情報学
野澤　　充	教　授	刑法
蓮見　二郎	教　授	政治学
韓　　相熙	教　授	国際関係法
福原　明雄	准教授	法哲学
堀野　　出	教　授	民事訴訟法
M・フェニック	教　授	Criminology
松井　　仁	教　授	実務法学（弁護士）
丸谷　浩介	教　授	社会保障法
南野　　森	教　授	憲法
八並　　廉	准教授	国際取引法
山口　道弘	准教授	日本法制史
山下　　昇	教　授	労働法
柳　　愛林	准教授	政治思想史

2022年度 進路先一覧

卒業生　192名（うち女子73名）進学29（11）企業等68（23）公務員55（28）その他40（11）

2023年5月1日現在、右欄は女子で内数

企　業	人数	
AGC	1	1
JR大分シティ	1	
JR九州ホテルズ	1	
NTTドコモ	1	
TKC	1	
アチーブメント	1	
雲孫財団	1	
オービック	2	1
河合塾マナビス	1	
山陰合同銀行	1	
ジョンソン＆ジョンソン	1	
スカイマーク	1	
住友海上火災保険	1	
住友化学	1	1
住友林業	1	1
積水化学工業	1	1
ソフトバンクグループ	1	
損害保険ジャパン	1	
大同生命保険	1	
テノックス九州	1	
電源開発	1	
トヨタ自動車	1	1
東京海上日動システムズ	2	1
西日本鉄道	1	
西日本電信電話	1	
ニトリ	1	
日本IBM	1	
日本政策投資銀行	1	
日本生命保険	2	1
日本総合研究所	1	
日本通運	1	
日本放送協会	1	
日本マニュファクチャリングサービス	1	
農林中央金庫	1	
阪和興業	1	1
パナソニック	1	
パナソニック産機システムズ	1	1
パラカ	1	1
ビジョン・コンサルティング	1	
福岡魚市場	1	
福岡銀行	3	1
福岡地所	1	1
福岡大学	1	1
福岡フィナンシャルグループ	1	1
富士フイルム	1	1
ブシロード	1	1
ホームロジスティクス	1	
マネジメントソリューションズ	1	
マルエツ	1	
三井住友銀行	2	1
三井住友信託銀行	1	
三菱UFJ銀行	1	1
三菱UFJ信託銀行	1	
三菱プレシジョン	1	
明治安田生命保険	1	1
柳井電機工業	1	
ヤマエ久野	1	
ヤマハ音楽振興会	1	1
楽天銀行	1	1
楽天グループ	1	1
リオ・ホールディングス	1	
リクルート	1	
計	68	23

公務員	人数	
総務省	1	1
厚生労働省	2	2
経済産業省	1	1
農林水産省	1	
金融庁	1	1
法務局	1	
九州公安調査局	1	
九州経済産業局	1	1
九州地方整備局	1	
福岡法務局	1	
福岡国税局	2	1
福岡労働局	4	3
福岡財務支局	1	1
福岡地方検察庁	1	1
佐賀地方検察庁	1	1
福岡地方裁判所	1	
裁判所	2	2
福岡県	10	4
福岡市	8	5
福岡県筑前町	1	
長崎県	1	
熊本県	2	1
大分県	1	
宮崎県	3	1
山口県	1	
広島県	2	1
愛媛県	1	
福津市	1	1
福岡県立高等学校	1	
計	55	28

進　学	人数	
九州大学法学府	4	2
九州大学法科大学院	11	2
東京大学法科大学院	3	2
慶應義塾大学法科大学院	2	1
早稲田大学法科大学院	4	3
大阪大学法科大学院	1	1
京都大学法科大学院	1	
同志社大学法科大学院	1	
一橋大学公共政策大学院	1	
京都大学公共政策大学院	1	
計	29	11

九州大学法学部同窓会収支報告書

2021（令和3年）年9月1日～2022（令和4）年8月31日

◎経常会計

収入

事項	令和3年度決算
前年度繰越	1,689,159
年会費	1,999,004
準会員会費	150,000
預金利息	13
懇親会残金	94,501
寄附金	0
合計	3,932,677

支出

事項	令和3年度決算
会議費	0
会報費	143,730
会員情報管理費	126,599
印刷費	592,950
発送費	718,402
発送手数料	167,754
補助金	410,000
旅費	60,600
謝金	10,000
通信連絡費	57,986
消耗品費	5,338
会費振込手数料	81,715
雑費	84,078
計	2,459,152
次年度繰越	1,473,525
合計	3,932,677

《編集後記》

☆4月から同窓会の担当になりました。ご寄稿いただいた方や各支部など、皆様のご協力で会報を無事発行することができました。ありがとうございました。同窓生のご活躍の情報や会報へのご提案などありましたらぜひ事務局までお寄せいただければ幸いです。（A・Z）

☆残されたキャリアで何ができるか考え、能ある鷹は爪を隠すだの、男性は立てるべしだのに配慮するのを止めた。忙しくなったが、調整すべきスケジュールが自分のだけなら、着実にこなせる。年を重ねるのは素晴らしい。（M．I）